

気仙沼 ESD / RCE 環境教育推進会議 2008 開催要項

気仙沼市教育委員会

1, 目的

- (1) 地域の環境教育及び国際理解教育等の ESD 実践の共有化を図るとともに、地域及び大学等の専門家の助言をもとに学習プログラムを改善し、本市の環境教育を基軸とする「持続可能な開発のための教育」(ESD)のさらなる発展と普及をめざす。
- (2) 国連大学の「国連・持続可能な開発のための教育の地域の拠点」(ESD/RCE)のモデルとして、気仙沼市の小・中学校及び高等学校と、地域の諸機関や大学等の専門機関との連携の充実を図り、ESD のための地域の推進体制を整備する。
- (3) 海外(米国テキサス州)の ESD・環境教育の取組や支援体制について情報を共有することで、国際的な視野から本市の取組を評価するとともに、地球規模での ESD・環境教育の展開と国際連携の可能性について協議する。

2, 日時 平成20年7月4日(金) 13:30 ~ 16:30 (受付13:00~)

3, 場所 気仙沼市立面瀬小学校

4, 主催 気仙沼市教育委員会, 宮城教育大学, 気仙沼 ESD/ECE 推進委員会

5, 共催 仙台広域圏 ESD/RCE 運営委員会

6, 参加団体

宮城教育大学, 市立小・中学校, 県立高等学校, 市教育研究員, 市教育委員会,
気仙沼市 RCE 推進委員会, 持続可能な開発のための教育の10年推進会議(ESD-J)
米国テキサス州カリスバーグ小・中・高校, ノースセントラルテキサス大学, 他

7, 日程・プログラム

【第1部】全体会 「**地球的視野で地域に根ざした ESD の推進**」 体育館 13:30 ~ 14:50

開会挨拶 気仙沼市教育委員会 教育長 白幡 勝美

基調講話 「世界及び国内での ESD の推進状況と気仙沼の取組への期待」(20分)
ESD-J 代表理事, 立教大学 教授 阿部 治氏

報告 「国連・国内での気仙沼の ESD・環境教育の評価とカリキュラムガイド」(20分)
関係省庁連絡会議・ESD 円卓会議 委員 及川 幸彦
気仙沼市教育研究員 斉藤 渉

報告 「北テキサス広域圏 RCE の ESD の取組と連携体制」(30分, 通訳含)

北テキサス広域圏 RCE 事務局長 Tim Jones 先生
ノースセントラルテキサス大学 学長 Eddie Hadlock 博士

【第2部】 テーマ別セッション(7分科会予定)

各教室 15:00 ~ 15:50

「気仙沼の環境教育の情報交換と共有」

川をフィールドにした環境学習

講師:宮教大環境研(予定) 他

海辺をフィールドにした環境学習

講師:島の体験館(予定)

森林(里山)や学校園を活用した環境学習

講師:宮教大環境研(予定) 他

昆虫・土壌生物を素材にした環境学習

講師:宮教大環境研(予定) 他

エネルギー、リサイクル等、地域づくりをテーマにした環境学習

講師:NPO 大島大好き(予定)

地域の食材をいたした食教育

講師:スローフード気仙沼(予定)

英語活動・異文化理解等をテーマにした国際理解学習

講師:宮教大国際理解研(予定)

【第3部】 全体会

体育館 16:00 ~ 16:45

「気仙沼地域の特色を生かした ESD と連携の推進」

司会: 気仙沼市立面瀬小学校 校長 小野寺純一

各セッション(分科会)からの報告(各2分)と質疑

討議・意見交換

- ・ 気仙沼の特色を生かした ESD の推進と連携体制の構築
- ・ ユネスコ協同学校申請状況との今後の取組

指導・講話 「新たなESDの展開と気仙沼への期待」(10分)

宮城教育大学 副学長 見上 一幸 氏

閉会の挨拶 気仙沼市 ESD/RCE 推進委員会 委員長

8, その他

今回の会議には、米国テキサス州のセントラルテキサス大学の学長をはじめ、北部テキサス広域圏 RCE の関係者も参加し、MTP 後の気仙沼市との連携の継続や今後の仙台広域圏 RCE との連携に向けた協議を行います。

また、今回の会議に合わせて、「持続可能な開発のための教育」推進会議(ESD-J)の代表理事、阿部立教大教授が気仙沼を視察訪問するので、本会議の冒頭で「国内外の ESD の推進状況」に基調講話をいただく。

本会議終了後に、気仙沼プラザホテルにおいて、市教委主催の米国教員と大学関係者の歓迎レセプションを行いますのでご参加ください。(会費 5000 円予定)